

東陽中学校校舎改築について

【内容】

東陽中学校校舎について、すべてを取り壊すのでしょうか。取り壊さず保存できませんか。学校を紀南病院跡地に建てるのか、現在の場所に建てるのであれば、解体して紀南病院跡地に復元できないのでしょうか。また、あのままの姿で耐震性を強化することはできないのでしょうか。

【回答】

東陽中学校の校舎は、昭和 12 年に建築された木造校舎で、市立の学校校舎の中ではいちばん古く、長い歴史を持ち、多くの方々の思い出に残る校舎であると思いますが、近年老朽化がかなり進んでおりまして、雨漏れや白蟻の被害など毎年多くの箇所の修繕を行っている状況であります。

このことから、平成 9 年に育友会から校舎の建て替えについての要望が出され、以来毎年市並びに教育委員会に対して校舎建て替えの要望・陳情が行われ、さらに平成 16 年 3 月には地元から市議会へ「校舎改築に関する請願」が提出され、採択されたところであります。

また、取り壊しせずに保存するためには耐震補強を含めた大規模な改修が必要になり、そのために要する費用は改築する額以上になるだけではなく工期も 2 年では済まなくなると考えられ、その間仮設校舎で過ごさなければならない生徒に及ぼす影響は相当なものになります。

こうした状況を踏まえ、市といたしましては、平成 19、20 年度で、現在の校舎を取り壊して新しい校舎を建築することを決定し、現在、新校舎建築のための設計業務を行っているところでございます。

紀南病院跡地の利用につきましては「図書館及び歴史民俗資料館の機能を併せ持つ文化施設を建設する」との基本計画が示されていますことから、学校の建設や校舎の復元を行うということは難しいことと考えております。

長い歴史を持つ木造校舎が残っていることは貴重なことであると十分理解しておりますが、生徒の教育環境の改善を進めていくことが最重要課題であることから、建て替えすることを決定いたしました次第でありますので、ご理解をいただきたいと思っております。

(担当：総務学事課)